

今週（7月7日から7月11日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出合いの水準は0.475～0.478%の横ばい圏での推移となった。そのため、加重平均レートについても、10日(木)までは0.477%で安定して推移し、11日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1W～6Mまでの幅広い期間で出合いが散見された。また、ロングターム物では大手証券によりビッドレートを引き下げる動きが見られた。

日銀当座預金残高は、7日(月)に522兆円程度でスタートし、8日(火)に財政資金の払いを受け523兆円台半ばまで増加した。その後は、9日(水)の5年債発行や11日(金)の20年債発行と財政資金の揚げにより、519兆円台前半まで減少する見込みとなった。

●レボ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.495～0.505%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが堅調に推移した。

9日に実施された6M物入札は強い結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。11日に実施された3M物入札は無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでは特段の出合いが無く閑散な地合いとなった。

●CP市場

今週のCP市場は、卸売業、不動産、小売業など複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、週を通して概ね25兆円台前半で推移した。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移しているが、銘柄により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/7 (月)	39,587.68	1.454	144.34	0.477	0.491	5,223,100
7/8 (火)	39,688.81	1.485	145.98	0.477	0.492	5,236,000
7/9 (水)	39,821.28	1.500	147.12	0.477	0.489	5,209,200
7/10 (木)	39,646.36	1.490	145.85	0.477	0.491	5,210,600
7/11 (金)	39,569.68	1.500	146.58	0.477	0.492	5,190,600

来週（7月14日から7月18日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/14 (月)	5月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				
7/15 (火)			GX5Y 7/16発行 3,000億円	交付税借入 7/24借入 11,000億円	6月の米消費者物価指数
7/16 (水)					米ページブック 6月の米生産者物価指数 6月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月の英消費者物価指数
7/17 (木)	6月の貿易統計(財務省 8:50) 5月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB1Y 7/22発行 32,000億円	流動性供給 7/18発行 6,500億円	交付税借入 7/31借入 11,000億円	6月の米小売売上高 5月の米企業在庫 6月のユーロ圏消費者物価指数改定値
7/18 (金)	6月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB 3M 7/22発行 43,000億円			6月の米住宅着工件数 7月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/14 (月) 日銀予想	800	▲ 13,600	▲ 12,800	国債買入 社債買入 国債補充	▲ 300 1,600	10,600	11,900	▲ 900	源泉所得税揚げ、労働保険料揚げ 社会保障費払い TDB3M発行▲43,000償還45,000
7/15 (火) 弊社予想	500	▲ 2,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
7/16 (水) 弊社予想	500	▲ 3,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	GX5Y発行▲3,000
7/17 (木) 弊社予想	▲ 500	2,000	1,500				0	1,500	交付税借入▲11,000期日13,000
7/18 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 7,000	▲ 7,500	気候変動	▲ 72,400		▲ 72,400	▲ 79,900	流動性供給▲6,500
週間合計	800	▲ 23,600	▲ 22,800	—	▲ 71,100	10,600	▲ 60,500	▲ 83,300	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.40～0.51%程度での推移が予想される。短国市場は、17日(木)に1Y物、18日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、16日(水)に五・十日の前倒し発行が予定されており、発行案件がどの程度膨らむのか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、14日(月)に5月の機械受注統計、17日(木)に6月の貿易統計、18日(金)に6月の全国消費者物価指数、海外では、15日(火)に6月の米消費者物価指数、16日(水)に米ページブック、6月の米生産者物価指数、17日(木)に6月の米小売売上高、6月のユーロ圏消費者物価指数改定値などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。